## 株式情報 (平成28年9月30日現在)

#### 株式の状況

1.発行可能株式総数 27.400.000株

2.発行済株式の総数 15,628,300株 (うち自己株式674,218株)

3.株主数 4,335名

#### 株主メモ

■事業年度

毎年4月1日~翌年3月31日

 基準日
 定時株主総会
 3月31日

 剰余金の配当
 3月31日

 中間配当を行う場合
 9月30日

そのほか必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

**■定時株主総会** 毎年6月下旬

■**単元株式数** 100株

■株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

#### ■お問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別□座の場合					
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部					
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル) (土・日・祝日を除く9:00~17:00)					
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずは証券 本店および全国各支店 プラネットプース (みずは銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いでき ませんので、ご了承ください。					
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行に ついては、右の「特別口座の場合」 の郵便物送付先・電話お問い合わせ 先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売 買はできません。					

#### ■公告方法

電子公告 (http://www.se-corp.com/ir/koukoku.html) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

#### ○ご報告:株主優待制度を活用した社会貢献団体への寄付について

平成28年3月期においては、選択式の優待品目のひとつとして、 昨年同様「緑の募金」を通じた東日本大震災の被災地復興に向けた 「使途限定募金」の寄付を設定いたしました。

その結果、多くの株主様の善意により合計金額42万2千円が集まりましたので、公益社団法人国土緑化推進機構に全額寄付させていただきます。

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

#### ホームページのご案内

詳細なIR情報や会社概要等については、当社ホームページをご覧ください。 http://www.se-corp.com

## 会社情報 (平成28年9月30日現在)

号 株式会社エスイー

所 在 地 〒163-1343 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 (新宿アイランドタワー)

業 昭和42年8月 立 昭和56年12月

従 業 員 数 単体179名、連結456名 グループ事業内容 1.建設用資機材の製造・販売

・環境防災分野 ・橋梁構造分野

・ESCON®の製造販売事業 ・PPP/コンセッション分野

2.建築用資材の製造・販売 3.建設コンサルタント

4.補修・補強工事 5.その他

グループ会社 (㈱アンジェロセック (連結) エスイーA&K(㈱ (連結) エスイーリペア(㈱ (連結)

エスイーリペア(株) (連結) (株)ランドプラン (連結) エスイー鉄建(株) (連結) (株)中川鉄工所 (連結)

関係会社(㈱コリアエスイー(持分法適用、韓国)

日越建設コンサルタント (VJEC) (非連結、ベトナム) 九春工業股份有限公司(台湾)

協力会社 アンジェロップ (フランス)

#### 役員

#### ■取締役・監査役

代表取締役会長 執行役員会長 夫夫浩 代表取締役社長 執行役員社長 哲 取締役 執行役員副社長 取締役 執行役員副社長 取締役 専務執行役員 取締役 常務執行役員 取締役 執行役員 取締役(社外取締役) 取締役(社外取締役) 監査役(常勤) 監査役(社外監査役) 石 監査役(社外監査役) 喜

#### ■執行役員(取締役を兼任するものを除く)

執	行	役	員	中	村	賢	_
執	行	役	員	和	田		弘
執	行	役	員	水	城	康	男
執	行	役	員	市	Ш	真仿	史
執	行	役	員	石	野	隆	之
執	行	役	員	永	野	誠	史









見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォント を採用しています。

# 株主通信

第36期第2四半期 平成28年4月1日~平成28年9月30日

### ●目 次

- エスイーグループ事業紹介
- -株主の皆様へ
- -平成29年3月期第2四半期連結決算ハイライト
- -事業の状況
- 第2四半期連結財務諸表
- -TOPICS
- -株式情報
- -会社情報





## エスイーグループ事業紹介

# 安心·安全で快適な暮らしのために、 様々なフィールドで貢献しています。

建設用資機材の製造・販売事業(株)エスイー エスイー鉄建(株)(株)中川鉄工所

建築用資材の 製造・販売事業 エスイーA&K(株) エスイー鉄建(株) (株)中川鉄工所

建設コンサルタント事業

(株)アンジェロセック

補修・補強工事業 エスイーリペア(株) (株)ランドプラン













公共事業・ODA等のコンサルティンク

# 海外での 事業展開



KOREA SE CORPORATION (株式会社コリアエスイー) ●建設用資機材の製造・販売事業



VJEC (Vietnam Japan Engineering Consultants Co., Ltd.) ●建設コンサルタント事業



台湾

九春工業股份有限公司 ●建設エンジニアリング事業

橋梁の構造強化





## フランス アンジェロップ社

アンジェロップ社は、社会インフラ、公共交通、水道施設、建築物など多岐にわたる技術力やネットワークを持ち、世界各国で活躍するフランスのエンジニアリング会社です。当社は、世界最高水準の技術を有するアンジェロップ社と創業以来の協力関係にあり、国内外において共同で事業を展開しています。

エスイーグループ事業紹介 02

## 変化と新しい価値の創造

顧客に満足される新しい機能の創造 社会、自然環境との調和

社員の個性尊重 -意欲と能力の発揮による各人の豊かさの実現-

Making Changes, Creation of New Values for the Next Stage

## 株主の皆様へ



森元 峯夫 大津 折

平素は格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等により景況感の好転が期待される一方で、円高による企業業績の停滞や個人消費の低迷など弱含みの状況になっております。

また、世界経済は、英国のEU離脱問題やアジア新興国経済の減速などから、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと当社グループでは、建設業界における中長期視野での公共投資減少等の問題に対処すべく、安定収益の確保と経営基盤の強化として、「補修・補途市場」への積極的な事業展開、海外(ベトナム)建設市場の開拓、超高強度合成繊維補強コンクリート「ESCON®」の開発等に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、この期間における公共事業の発注額が若干増加しているものの執行状況については前年より若干下回っていることや民間建築工事の受発注が遅れている影響もあり、売上高75億74百万円(前年同期比12.2%減)と減収となりました。利益面では、建設用資機材の製造・販売事業において法面(のりめん)を中心とした工場製品の利益率が改善いたしましたが、建築用資材の製造・販売事業においてM&Aにより株式を取得したが、建築用資材の製造・販売事業においてM&Aにより株式を取得したが、建築用資材の製造・販売事業においてM&Aにより株式を取得したが、建築用資材の製造・販売事業においてM&Aにより株式を取得したが、建築用資材の製造・販売事業においてM&Aにより株式を取得したが、建築用資材の製造・販売事業においてM&Aにより株式を取得したが、建築用資材の製造・販売事業においてM&Aにより株式を取得したが、建築用資材の製造・販売事業においてM&Aにより株式を取得したが、建築用資材の製造・販売事業に対した。

当社は、これからも人々の生命と財産を守るため、グループー丸となって社会へ貢献してまいります。今後とも、変わらぬご愛顧を賜りますようお願いいたします。

## ●平成29年3月期第2四半期連結決算ハイライト

売 上 高	75億74百万円		
経 常 損 失	$\triangle$ $1$ 億 $41$ 百万円		
期末配当(予想)	1株当たり <mark>20</mark> 円		

#### ・通期連結売上高、経常利益の推移 (単位: FDDH)



## ●決算のポイント

### 利益優先の経営

第2四半期のグループ経営は、収益性を基準にした製品の整理・ 見直しや経営資源の再配分を重視いたしました。その結果、連結 売上高は、前年度より落ち込んだものの、経常利益は、改善いた しました。

また、グループ会社間での人材の異動・適正配置を積極的に推進いたしました。グループ内出向者を増員させるなど人材の流動化を図り、M&Aによる人的シナジー効果が出始めました。

## M&A実施による事業の拡充

第2四半期連結会計期間中に、エスイー鉄建株式会社を承継会社、株式会社丸互を分割会社とする吸収分割を行いました。これにより、エスイー鉄建株式会社が株式会社丸互の「鉄骨事業」を承継することとなりました。

今後は、エスイー鉄建株式会社の主力とする鉄鋼加工部門に株式会社丸互の持つ大型鉄骨加工部門を加えることにより、受注規模及び製造範囲の拡充を図るとともに、グループ全体の営業活用機会の増加と業容拡大に努めてまいります。

## 事業の状況

エスイーグループの事業は主に4つのセグメントにより構成されています。

売上高構成比

## 建設用資機材の製造・販売事業

㈱エスイー

連結子会社:エスイー鉄建㈱ ㈱中川鉄工所

43.7%

売 上 高 **33億8百万円** (前年同期比 25.7%減)

依然として続く建設技能労働者不足による労務単価上昇の影響や工事遅延の 影響などにより、厳しい市場環境が続いております。このような中、今年度よ り利益重視の方針に転換し取扱関連商品の販売を一部縮減した影響もあり、売 上高は前年同期に比べ減収となりました。

利益面では、工場製品を中心とした売上高増加による売上総利益の改善があり、営業損失は前年同期に比べ改善いたしました。





売上高構成比

## 建築用資材の製造・販売事業

連結子会社:エスイーA&K㈱ エスイー鉄建㈱ ㈱中川鉄工所



(前年同期比 1.0%增)

売上高 35億76百万円

エスイーA&K㈱において、建築業界全体 停滞しており、東北市場では震災復興関

エスイーAGK(MICのUIC、延業業界主体が停滞しており、東北市場では震災復興関連工事も一段落したことから資材販売は低調に推移いたしました。一方、首都圏市場においても、民間建築工事の受発注が遅れており、厳しい市場環境が続いております。利益面では、原材料価格の動きが不安定な中、コストダウンの努力を続け製造原価の低減努力と生産効率の向上を続けてまいりました。

また、エスイー鉄建㈱では、会社分割に トル東業系鉄を実施したカ万東業所の鉄層が関の声しが実

より事業承継を実施した丸互事業所の鉄骨部門の売上が寄与いたしました。 しかし、一部物件で工事発注遅延が発生したこと及び新規M&Aの立ち上げ時 の初期費用や固定費の増加の影響もあったことから、減益となりました。

## 建設コンサルタント事業

連結子会社:㈱アンジェロセック

2.4%

売上高構成比

### · 上 高 **1 億82百万円** (前年同期比 82.0%増)



補修・補強工事業

連結子会社:エスイーリペア(株) (株)ランドプラン



売上高 5億7百万円

(前年同期比 4.6%減)

政府による「国土強靭化」を掲げる政策やインフラ老朽化対策である橋梁、道路、トンネルなどの改修計画の具体化など事業を進めておりますが、大型工事の進捗の遅れ及び熊本地震の影響による工事発注の遅れが発生したこともあり、減収、減益となりました。



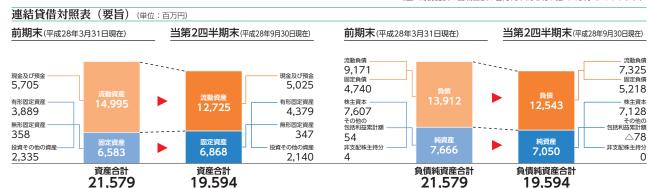


※売上高及び売上高構成比は端数処理をしております。

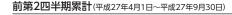
03 ●株主の皆様へ、平成29年3月期第2四半期連結決算ハイライト

## 第2四半期連結財務諸表

(注) 財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

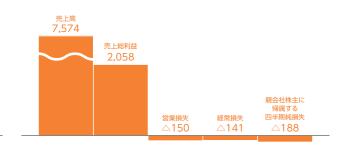


連結捐益計算書(要旨)(単位:百万円)



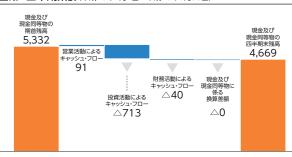


**当第2四半期累計**(平成28年4月1日~平成28年9月30日)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)(単位: 百万円)

**当第2四半期累計**(平成28年4月1日~平成28年9月30日)



#### POINT(1)

資産減少の主な要因は、前連結会計年度末に集中した売掛債権の回収 が進んだことにより、受取手形及び売掛金が20億46百万円減少したことによるものです。

#### POINT2

資金減少の主な要因は、投資活動によるキャッシュ・フローにおいて、 有形固定資産の取得による支出1億93百万円、事業譲受による支出 5億80百万円等によるものです。

より詳しい財務情報は、IR情報サイトをご覧ください。

エスイー IR 検索 http://www.se-corp.com/ir/

## TOPICS



## ESCON協会発足

平成28年7月14日、ESCON(超高強度合成繊維補強コンクリート)の普及を目指す 「ESCON協会」が発足いたしました。ゼネコンやPC建設業者及びコンクリート製品製造会 社などが集まり、設立総会が開催されました。会長には弊社代表取締役会長森元峯夫が就 任いたしました。

今後は正会員27社、賛助会員4社が、技術情報の収集や適用分野の開発を通じて、 ESCONの応用分野と量的拡大に努めてまいります。



## ESCONパネル NETIS登録完了



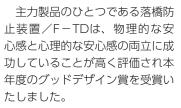
平成28年9月、ESCONパネルのNETIS登録が完了いたしました。

登録No. QS-160021-A

ESCONパネルは、超高強度合成繊維補強コンクリートと 炭素繊維グリットを用いることで、外部からの劣化因子の侵 入を防ぎ、長期間にわたり高品質が維持されるため耐久性の 向上が期待できます。また、鉄筋を使用しないため塩害地域 など腐食環境が厳しい条件下でも安心して使用できます。



## **GOOD DESIGN AWARD** 2016年度受賞







### ~グッドデザイン賞 審査員のコメントより~ <受賞理由>

以前より気になっていた落橋防止装置である。

20年で27万基あまりが設置されており、熊本地震ではF-TDが 設置されていた橋の落橋を防いだという。

落橋防止装置はどれも同等の耐震性能を有するが、地震エネル ギーを吸収するゴム部材とPCケーブルで構成されたシンプルな 形状の当落橋防止装置は、橋の美観を損ねることなく、視覚的 な安心感も与えている。

物理的な安心感と心理的な安心感の両立に成功していることに 当デザインの価値がある。

05 ●第2四半期連結財務諸表 TOPICS 06